

# 迎春

今しかできないこと、今だからできること  
みんなで考えていきましょう



播磨町長  
**佐伯 忠良**

新年あけましておめでとございます。このあいさつがみなさんに届くときは、まだ新年になっていないのですが、新しい年を迎えるに誰しもがそれぞれに何かを期待し、希望を膨らませ自分の目標をい込むものです。

みなさん各々に思いをお持ちになれることでしょうか。

いうことにつながると思うのです。個人生活でもありがちなことですが、あの時こうしておけばとか、もう少し頑張っておけばという思いをすることがあります。行政としてそのようなことを少なくしていくことが、来るべき時代に対して責任を果たすことになると思います。

時世が時世でありますだけに何事も順風には行かなくなってきたりありますが、敢えてこんな時だからこそ大きな目標を立て、それに立ち向かうことが必要なのかも知れませんね。

私たちのまちには数多くの課題があります。福祉や教育、環境など、そのすべてが短絡的志向で片づけられないものと思っています。

世情経済が思わしくありませんが、幸いにも播磨町は経営的にも体力を有しています。

播磨町も平成14年に町制施行40周年を迎えましたが、私はこれを契機として「まちづくりは、みんなで」の精神で、この新しい年を一層飛躍の年になるよう努力していきたいと思っています。

町長として早や9年目になりますが、振り返っていつも感じますのは、まちの課題というのは尽きることがないことです。それだけに、どれだけ将来が読めるかと

今しかできないこと、今だからできることを念頭に住民のみなさんのご協力を得て、よりよいまちづくりに頑張っていきたいと思っています。

本年もどうかよろしくお願い申し上げますとともに、みなさんにとって良き年でありますよう祈念して年頭のごあいさついたします。

## 心のかよひに合ひまはしづくりを



播磨町議会議長  
**松本かおり**

新年あけましておめでとございます。平成15年の新春にあたり、皆様方には、ご家族おそろいで健やかに良き新年をお迎えになられたことと、心からお喜び申し上げます。

昨年中は温かいご支援とご協力をいただき、議員一同深く感謝いたします。

しかし、社会、経済は依然として不透明な状況にある中、地方分権の推進により、国と地方自治体との役割関係が大きく様変わりし、自己の決定権と責任は、今後ますます大きくなっています。

このような状況の中で、私たち議会も複雑、多様化する政策に、的確な意思決定と監視機能をこれまで以上に充実させ、議会の活性化を進めていきたいと考えています。

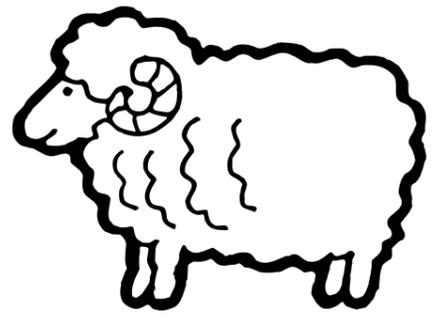
さて、昨年は本町にとって、町制施行40周年の節目の年であり、記念式典をはじめ、友好・姉妹都市提携の和平区（中国）、ライマ市（米国）、および日本の3カ国の次代を担う中学生たちでの「21世紀の夢」などについてのサミット、郷土の画家「浅原清隆展」などの記念行事が多数行われました。

また、議員が町民全体の奉仕者としての自覚を深め、政治倫理の確立のため「議員政治倫理条例」の制定を目指しています。

これらさまざまな課題を抱えた中で、この播磨町が豊かで、緑あふれ、人の心がかよひ合う住み良い町となるよう、議員が丸となって議会の責任を果たしていきたいと考えています。

住民の暮らしに係わる事業として、播磨町駅北地区整備事業による「セフレ播磨」のメデイカルフロアの整備、住民が待ち望んでいるJR土山駅自由通路整備事業ならびに福祉事業として本町の隣接地に法人による特別養護老人ホームの建設計画等々、順調に推進されています。

今後とも、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。本年が皆様方にとって幸多い年でありますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



公職選挙法により、政治家は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。

ご理解とご協力をお願いいたします。

あけましておめでとございます

議長	松本かおり
副議長	上田高司
議員	小西茂行、藤田修博、永谷修、田中久子、金岡利春、田中利保子、中野美保子、浅原利一、佐伯優、河野尚博、宮尾尚子、古川美智子、松本正、塩沢岩光、山下喜世治、山岡喜治、孝岡、清原ひろ子、杉原延享、浅原博文

(議席順)